

令和7年度 角鹿小中学校スクールプラン

敦賀市立角鹿小中学校

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、
心豊かで、健康な人の育成

＜学校教育目標＞

これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成

敦賀市学校教育ビジョン

知：学びを通して問題解決能力を高める力
徳：豊かな人間性
体：たくましく生きるための健康や体力
－子どもたち自らの「志」を育む－

めざす学校像

一人一人の「ちがい」を認め合い、
互いを「大切」にし合う学校
「わかった」「できた」を実感でき、
楽しく学び合う学校
失敗から学び、より良くなろうと
「チャレンジ」し合う学校

めざす児童生徒像

大きくなろう（広く豊かな心と知性のある子ども）
強くなろう（強靱な身体と精神を持つ子ども）
幸せになろう（夢や希望を持ち、その実現に向かう子ども）



めざす教師像

子どもの幸せを願い、共に歩む教師
自分事として受け止め、学び続ける教師
つながり、引き出し、高め合う教師

重点目標

未来に向けて協働し
共生する社会性の育成

- ◎互いの違いを認め合い、
尊重し高め合う集団づくり
- ◎しなやかで強い心の育成

未来を生き抜く
心身の育成と健康の増進

- ◎安心・安全な学校づくり
- ◎命を守り尊ぶ生き方への共感
- ◎心身の健康と運動を楽しむ素地形成

未来につながる
確かな学力の充実

- ◎ツールの活用能力向上と、
主体的、対話的で深い学びの実現
- ◎楽しく学び、力がつく授業の構築

地域と共に未来に向かう
社会に開かれた学校づくり

- ◎学びのつながりを実感し共有できる
カリキュラムマネジメント
- ◎信頼、協働、連携による学校経営

具体的な取組

◎小中一貫したポジティブ教育の推進

- ・「ピアサポート」による仲間同士が認め
合い支え合う、豊かな集団づくり
- ・逆境に負けないしなやかな心を育てる
「レジリエンス教育」の充実

◎思いやりの心の育成

- ・不登校の未然防止につながる「明日も
通いたくなる」魅力的な学校づくり
- ・いじめの未然防止につながる「一人一
人を大切に」人権教育の推進

◎「心のよりどころ」づくり

- ・定期的なアンケートと相談体制による
「聴いてもらえる」安心感の醸成
- ・「大切にされている」という意識を醸成
するカウンセリングマインドの浸透

◎自己肯定感の育成

- ・「自分には良いところがある」を実感で
きる経験の構築と承認システムづくり

◎安心安全な学校の構築

- ・「自分の命は自分で守る」という安全意
識の涵養と危機回避能力の育成

◎「心のものさし」づくり

- ・健康的で自律的な生活習慣の定着と、
能動的な態度の涵養
- ・規範意識の涵養と自ら考え行動しよう
とする生きる力の育成
- ・多様な価値の理解と、寛容な心の養成
- ・心をつなぐあいさつの習慣化と、豊か
な人間関係の構築

◎心身の健康と体力づくり

- ・身体を動かす楽しさを味わわせる体育
の授業やクラブ活動・部活動の推進
- ・あらゆる運動機会を通じた基礎体力の
向上と、運動の習慣化
- ・集会、自然体験、福祉活動などの体験
活動を充実

◎学ぶ楽しさを感じられる授業づくり

- ・ICTをはじめとするツールの活用能
力向上と、主体的に学ぶ態度の育成
- ・探究的な学習の充実と、協働的な学び
の深化による学ぶ楽しさの共有
- ・児童生徒が「主語」となる学習を成立
させるための授業改善
- ・UDに配慮しつつ、個別最適な学びに
よる「学びを自己調整する力」の養成

◎読書活動の充実

- ・学校図書館の活用や家庭読書の推進に
よる「読書好き」な子の育成
- ・正しく読み解き、主体的に活用するメ
ディアリテラシーの養成

◎失敗から学んでこそ本物

- ・うまくいかないことや失敗したことか
ら学ぶ自己修正力の涵養
- ・確かな学力を築く家庭学習の充実

◎家庭・地域との信頼関係構築と連携

- ・計画的な学校公開や情報発信の充実
- ・健全なネット利用の基礎を培う情報モ
ラル教育の推進

◎魅力ある学校づくりの推進

- ・個に目をかけ大切にしよう風土の醸成
- ・「つながり」や「かかわり」を大切にす
る異学年交流活動の充実
- ・学びのつながりを意識した小中一貫カ
リキュラムの実践
- ・施設一体型小中一貫教育の推進と、幼
保小、中高の連携の充実

◎生き方を育むふるさと学習・キャリア
教育の推進

- ・地域をステージとし、地域とともに育
む「ふるさとを愛する心」の涵養
- ・夢を育み、生き方をデザインするキャ
リア教育の充実

成果指標

- ・学校生活が楽しい →90%以上
- ・安心して過ごすことができる →90%以上
- ・自分にはよいところがある →85%以上
- ・新規不登校発生 →0件

- ・安全を意識しながら生活できる →90%以上
- ・状況に応じたあいさつができる →90%以上
- ・運動に積極的に取り組んでいる →90%以上

- ・教科の学習がわかる →90%以上
- ・お互いの意見や考えを認め合っている →90%以上
- ・粘り強く問題解決に取り組む →90%以上
- ・年間読書量 →前年度以上

- ・学校からの情報発信への満足度 →80%以上
- ・地域とつながり関わろうとする →90%以上
- ・将来の夢や希望を持っている →90%以上

業務改善のための取組

－「子どもたちと向き合う時間」と「教師のゆとり」づくり－

- ◎子どもを中心とする指導観への変換・評価方法の改善
- ◎日課時程・部活動時間・行事等の縮減と統合、地域に開かれた教育課程

→ ワークライフバランスの実現 と 超過勤務45時間への挑戦

- ◎校務のICT化・事務処理の効率化・ペーパーレス化と会議の縮減
- ◎メンタルヘルスマネジメント（セルフケア、ラインによるケアの充実と相談体制の確立）